

様式第2号（補助金交付要綱第7条関係）

補助事業計画書（1/2）

- 本書により審査を行いますので、内容はできるだけ詳しく、具体的に記入してください。
- 必要に応じて記載欄を拡大縮小してください。また、図面、イラスト、写真、見積書等活動内容の参考となるものがあれば添付してください（ただし、提出される書類は、A4判（両面使用も可）に統一してください。）。

1 大学等名		
2 教育研究活動	区分	
	テーマ	
3 連携する市町		
4 連携する企業、団体等		
5 参加学生		(学部学科学年ごとに人数を記載してください。)
6 活動の内容等 活動の目的、内容、期待される成果を項目ごとに記載してください。		【目的】
		【内容】
		【期待される効果】 (学生に対する効果、地域に対する効果、関連団体等に対する効果 等)

<p>7 活動の効果、発展性等</p> <p>活動の効果など審査基準に沿って項目ごとに具体的に記載してください。</p>	<p>【事業効果】 (活動の実施が、学生の主体的な取組や、地域に貢献する人材の育成につながるものとなっているか。)</p>
	<p>【課題認識】 (当該地域にどのような課題があると認識しているか。また、活動の実施が地域にとって必要なものとなっているか。)</p>
	<p>【実行性】 (活動計画は、大学等のこれまでの活動や実施体制から、実施可能なものとなっているか。)</p>
	<p>【先駆性・独創性】 (活動計画には新しいアイデアや行政にはない自由な発想が盛り込まれているか。また、課題解決にあたり地域との相互連携が図られているか。)</p>
	<p>【発展性】 (活動内容や成果は、大学等と行政、企業・団体等との新たなネットワークの構築、都市圏全体の発展に向けて参考になることが期待できるものとなっているか。)</p>

補助事業計画書 (2/2)

8 実施スケジュール (どの時期に何をするのかを御記入ください。)

年度 (時期)		活動内容
令和 年度		【継続の場合、過去の実績状況等】
令和 年度 (当該年度)	月	
	月	
	月	
	月	
	月	
	月	
令和 年度		【継続して研究活動を実施する場合、次年度の活動概要】

※ 次年度の活動に対する補助を約束するものではありません。